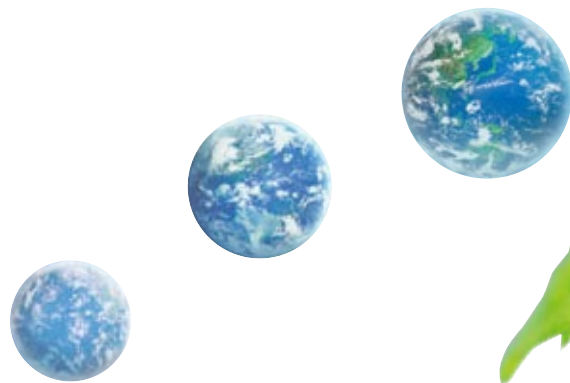


環境モデル都市千代田
～地球にやさしい環境づくりを目指して～

平成 26 年度
**地球温暖化配慮行動の
主な取組事例集**

千代田区温暖化配慮行動計画書制度





千代田区は、平成20年1月にCO₂削減目標を明示した「千代田区地球温暖化対策条例」を施行し、また平成21年1月には国の「環境モデル都市」に選定されるなど、都心としての特性を活かした先駆的な地球温暖化対策に取り組んでいます。

業務機能が集中している千代田区は、夜間人口が5万人程度である一方、昼間人口は82万人にもなります。そのため、区の温暖化対策の推進には、区内の事業所が、従業員などに対して取り組んでいる環境教育や環境活動等の温暖化配慮行動を促進する必要があります。

区は、事業所が日ごろから実践している環境配慮の取組みをさらに進めるために、同条例に基づく「千代田区温暖化配慮行動計画書制度」を策定し導入しました。

制度概要

この制度は、区内の各事業所が取り組んでいる「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を毎年区へ報告していただくものです。建物や設備など、ハード面での省エネルギーによる温暖化対策ではなく、行動する「人づくり」としてソフト面での温暖化対策です。

他の模範となる取組みを実施した事業所を表彰します!

区は、提出のあった事業所の取組状況を公表し、優良な取組みを表彰します。

表彰及び公表することにより、事業所の温暖化配慮行動の促進や優良な取組みの普及を図ります。

※公表は、提出のあった事業所名のほか、取組事例を掲載します。

詳しくは下記の区HPをご覧ください。

URL : <http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kankyo/ondanka/kekakusho/index.html>

過去の受賞事業所一覧

	平成 25 年度表彰	平成 24 年度表彰	平成 23 年度表彰
最優秀賞	三菱地所株式会社	株式会社そごう・西武 本部	日本郵船株式会社
省エネルギー部門賞	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	日立インターメディックス株式会社	日本紙通商株式会社
環境教育部門賞	前田建設工業株式会社	日本製紙株式会社	株式会社そごう・西武 本部
地域貢献部門賞	三菱UFJニコス株式会社	三菱地所株式会社	株式会社 セブン-イレブン・ジャパン
特別賞	該当無し	日本興亜損害保険株式会社	該当無し
環境配慮賞	ルネサスエレクトロニクス販売株式会社	和光堂株式会社	該当無し
		高砂熱学工業株式会社	
		ウシオ電機株式会社	

千代田区地球温暖化対策推進懇談会

千代田区地球温暖化対策条例第21条第2項に基づき区民、事業者、地球温暖化対策に関する識見を有する者で構成された、区の地球温暖化対策に関する意見を聴くための組織です。

※本制度の表彰事業所を審査し、選定しています。



表彰対象

最優秀賞

省エネルギー、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、優良な取組みを実施した事業所

地域貢献部門賞

地域に最も貢献した、優良な取組みを実施した事業所

省エネルギー部門賞

省エネルギー対策において、優良な取組みを実施した事業所

特別賞

他の模範となるユニークな取組みを実施した事業所 (今年度は該当なし)

環境教育部門賞

従業員等への環境教育において、優良な取組みを実施した事業所

環境配慮賞

任意で提出のあった事業所で、優良な取組みを実施した事業所

対象

- 義務提出事業所：従業員 300 人以上の事業所 (特定事業所)
 - 任意提出事業所：従業員 300 人未満の事業所
- ※任意でご提出いただいた取組みも表彰対象です。

書類の作成及び提出方法

区の HP をご覧ください。

URL : <http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kankyo/ondanka/kekakusho/kekakusho.html>

提出期限

毎年 8 月末日

※提出時点の事業所名を表記しています。

目次

制度概要	2
表彰対象	3
表彰事業所	4
・最優秀賞:株式会社みずほ銀行	4
・省エネルギー部門賞:旭化成株式会社	6
・環境教育部門賞:三菱地所株式会社	7
・地域貢献部門賞:山崎製パン株式会社	8
・環境配慮賞:三幸株式会社	9
提出のあった事業所紹介	10
主な取組事例	11
区の主な施策	12
CES推進協議会	15

株式会社みずほ銀行

<住所>大手町一丁目5番5号

最優秀賞

表彰の対象となった主な取組み

省エネ

内幸町本部の節水

中水をトイレの洗浄水として使用している。

内幸町本部で廃油を削減

食堂に食用油の自動濾過機を導入し、専門業者に委託して、インク・塗料等としてリサイクルすることで廃油量を削減している。

執務エリアの節電

- ・執務室、会議室、廊下等の執務エリアの照明の1/4程度を間引きし、節電を実施している。
- ・約9割が電気由来のCO₂排出量であるため、グループ全体のCO₂排出量の削減目標を設定している。

エネルギー使用量の「見える化」

社内イントラネットの電子掲示板に全国の営業店舗のエネルギー使用量を表示し、社員がエネルギー使用量の推移を確認できるようにしている。

「〈みずほ〉環境基準」の適用

店舗の新設及び改修の際は、高効率機器の導入、太陽光発電システム、LED照明を採用するなどの基準を適用し、各店舗のエネルギー使用量削減を目指している。

内幸町本部の「省エネ会議」

月1回開催する「省エネ会議」において、省エネ対策を策定し、進捗状況を報告している。



〈みずほ〉環境基準



省エネ会議



みずほボランティア・デー



「〈みずほ〉の森プロジェクト」植樹活動



環境教育

「〈みずほ〉のエコアクション宣言」の実施

2008年から毎年テーマを決めて実施しており、2013年は「家庭の節電」に関する取組みにグループ社員5万人以上が参加した。

「森づくりボランティア活動」への参加

2013年は社員とその家族46名が、〈みずほ〉のエコアクション宣言数に基づき寄付した苗木（参加者20名につき1本）の植樹作業に参加した。

地域貢献

「みずほボランティア・デー」の実施

国内ではグループ107部・店が、店舗周辺や公園等を清掃しており、内幸町本部では幹部社員約30名も参加した。

苗木の寄付

「〈みずほ〉のエコアクション宣言」に基づく活動として、区内の小学校に果樹の苗木を寄付している。

被災地清掃ボランティアの実施

福島県いわき市の海岸林を再生する「〈みずほ〉の森プロジェクト」の一環として、近隣の清掃作業を実施している。

「異業種間生物多様性イニシアティブ」への参画

2013年から他団体と共同で、大規模開発プロジェクトが生物多様性に与える影響を抑える対応策を検討する「異業種間生物多様性イニシアティブ(CSBI)」の立ち上げに、提唱メンバーとして参画している。



「〈みずほ〉のエコアクション宣言」ポスター



森づくりボランティア活動

事業所コメント

〈みずほ〉では、省資源・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、社員一人ひとりの積極的な環境配慮行動の促進を目指し、社員参加型の環境啓発を実施しています。今後も地域会社の一員として、グループ全体で環境への取組みを推進して参ります。

旭化成株式会社

<住所>神田神保町一丁目105番地

省エネルギー部門賞

表彰の対象となった主な取組み

省エネ

節電や省資源に対する各種取組み

以下の取組みを実施している。

- ・2002年より「EcoゾウさんClub」を運営
各家庭で電気・ガス・水道などの使用状況をウェブサイトに登録し、従業員はじめ一般会員家族の環境意識を楽しみながら育成することでCO₂削減を目指す取組みを実施（2004年には「地球温暖化防止活動環境大臣賞」受賞、2013年12月現在会員約3,600人）
- ・消し忘れ防止のため1日3回（18時、20時、22時）空調の自動停止
- ・昼休み執務室消灯
- ・毎週水曜日19時自動消灯
- ・執務室内照度500ルクス統一
- ・夏期28℃奨励、スーパークールビズ導入
- ・冬期20℃推奨

社内イントラネットで電力削減量情報を見える化

- ・神保町本社、全国の支社各々が、省エネルギー目標に対しての達成率などを毎月更新し、社員同士で情報共有できるようシステム化



社内イントラネットでの各地区節電状況表示

環境教育

オープン・オフィス・デイの実施

- ・社員の家族を職場に招き、職場見学とともに、自社製品や環境に関するテーマで実験・体験を実施している。

夢・化学21「夏休み子ども化学実験ショー」へ出展

- ・夢・化学21「夏休み子ども化学実験ショー」へ出展し、親子参加型の化学実験を実施している。

地域貢献

「出前授業」の実施

- ・区立九段中等教育学校を含め、小・中・高校生を対象に、学校もしくは工場内で、理科・環境に関する実験学習を実施している。



夢・化学21「夏休み子ども化学実験ショー」



オープン・オフィス・デイ



九段中等教育学校での出前授業



ビル近隣での清掃活動

事業所コメント

私たち旭化成グループは、世界の人びとの「いのち」と「暮らし」に貢献するというグループ理念のもと、「健康で快適な生活」「環境との共生」の実現を通して、社会に新たな価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

当社グループの事業活動自体が、地球環境・地域社会に影響を与えることを認識し、「コンプライアンスの徹底」「レスポンシブル・ケアの推進」「社会との共生」「社員の個の尊重」を『CSR重点活動』と捉えて、事業活動を行っています。

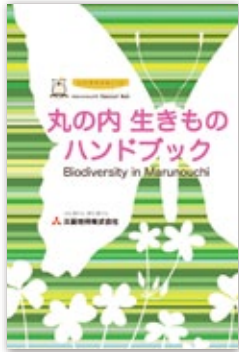
三菱地所株式会社

<住所>大手町一丁目6番1号



さえずりくん

環境教育 部門賞



ハンドブック表紙



ハンドブック春のページ



環境への取組リーフレットエコMAP



打ち水

表彰の対象となった主な取組み

省エネ

夏期節電と事務室内LED照明による実証実験

オフィス専有部照明の間引きなど自社オフィス活動における各種節電を実施し、テナントに対し率先垂範している。また、環境・CSR推進部事務室に、天井照明を使わない新型LEDを導入し、節電の実証実験を実施している。

環境教育

環境月間に啓発イベントを開催

グループ社員の環境意識啓発のため、他社環境施設の見学会、外部より講師を招聘して環境研修会などを実施している。今年度は、「環境先進事例見学会」として、ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)などを見学した。

環境e-ラーニングの実施

6月から7月に環境e-ラーニング(30分程度)を実施している。環境問題全般から、環境マネジメントシステム、三菱地所グループの事業活動による環境負荷などの5章からなる教材を学習し、総合テストを行っている。社員だけでなく、社長・会長等経営層も受講している。

「丸の内生きものハンドブック」の発行

丸の内地区の生物多様性モニタリング調査を実施し「丸の内生きものハンドブック」を発行した活動が評価され、2013年に「国連生物多様性の10年日本委員会賞(企業・各種団体部門)」を受賞した。

新入社員研修において環境教育を実施

4月のグループ会社合同新入社員研修において環境教育(約1時間の座学)を実施している。

環境への取組リーフレットの配布

グループ環境基本方針、各事業グループの取組事例やポイントを掲載するとともに、丸の内地区での環境対策を親しみやすいイラストマップで示し、この地区で見られる生き物たちと併せて紹介している。

地域貢献

九段中等教育学校への環境教育支援

2006年度から、地域社会への貢献活動の一環として、様々な環境施設の見学や生徒5名の企業訪問など九段中等教育学校の環境教育への支援をしている。

打ち水

毎年7月下旬に行幸通りなどでの打ち水イベントを開催している。7月から8月にかけては、丸の内仲通りでも打ち水を実施している。

事業所コメント

丸の内エリアに約35棟の建物を所有・管理する当社は、テナントやエリアの皆様と環境配慮行動を推進しています。

特に担い手となる従業員は、全社e-ラーニングや新人研修、見学会等を通じて、環境との関わりを知り、行動へとつなげる環境学習に取り組んでいます。

山崎製パン株式会社

<住所>岩本町三丁目10番1号

地域貢献 部門賞



神田まつり



竹林整備



ヤマザキ岩本町ビル防災訓練

表彰の対象となった主な取組み

省エネ

節電への取組み

- ・全社的にデマンド監視システムを導入して使用電力量の見える化を行い、電力の削減につなげている。
- ・離席する際に、パソコンを「スライプ」や「モニター電源オフ」に設定している。

廃棄物減量への取組み

- ・工場から排出されるパンの耳などを飼料原料として養豚業者に提供することで食料資源の有効活用と廃棄物減量に取り組んでいる。
- ・本社ビルから排出される可燃物・不燃物の多くをリサイクルしており、焼却処理の低減に努めている。

環境教育

社内報の発行

- ・毎月発行している社内報(8千4百部発行36頁)に2頁分の環境ページがあり、各店舗、工場が取組む環境に優しい取り組みや、地域貢献活動などを掲載することで情報共有している。

食品循環資源の有効活用

- ・本社や工場から排出されるパンの耳などを飼料原料として育った豚を社員食堂で提供することで、社員が食品循環資源の有効活用を身近に学んでいる。

エコドライブの推進

- ・安全運転教育を実施し、エコドライブに役立てている。

地域貢献

会社周辺の清掃

- ・1997年、岩本町に本社を移転して以来、曜日ごとに各フロア当番制で毎朝7時から会社周辺の清掃をしている。全国の工場でも毎日周辺の清掃を実施している。

「CES 環境フェスタ」にブース出展

- ・2014年2月、CES推進協議会主催の「CES 環境フェスタ」(区役所1F区民ホールにて開催)にブース出展した。

町会活動

- ・岩本町三丁目町会員として、千代田区一斉清掃、神田祭、岩本町ファミリーバザールなど町会行事へ参加している。

日本野鳥の会企業会員

- ・日本野鳥の会の企業会員として、パンの提供やミニ図鑑制作への協賛を通じて自然の尊さや命の大切さについての意識啓発活動を支援している。

市民ボランティア団体との交流

- ・千葉県山武市に所有している竹林整備を通じて市民ボランティア団体と交流している。

事業所コメント

当社(本社:岩本町)は、地域社会の一員として地域貢献活動や環境保全活動を推進しており、岩本町三丁目町会と連携した各種行事への参加や神田消防署との合同防災訓練、自治体・市民ボランティア団体と協力した自然保護活動を行っています。

今後も、企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与するという使命のもと、社会との信頼関係を築き「地域に愛されるヤマザキ」を目指していきます。

三幸株式会社

<住所> 神田駿河台三丁目3番地4

環境 配慮賞

表彰の対象となった主な取り組み

省エネ

ISOの認証取得

・ISO14001、ISO50001の認証取得により、環境・省エネ活動の推進を実施している。

電力使用量の見える化

・ビル入口にタッチパネル式液晶モニターを設置し、独自に開発した「BEMS」により従業員への電力使用量の推移などを見える化している。

節電

・スイッチ付コンセントタップを活用し、業務終了後各自がパソコン電源のコンセントタップのスイッチを切って夜間待機電力の削減を行っている。

〈最終退出者はチェック簿記載〉

・パソコンは省エネモード、ディスプレイOFF5分、スリープ10分を徹底している。

・空調電力削減のため、一部窓ガラスに遮熱フィルムを施工している。その際、区の新エネ・省エネ助成を利用している。



三幸取り組み事例



三幸スマートBEMS



三幸本社周辺清掃活動

環境教育

e-ラーニング

・社内LANを活用した環境教育を実施している。

社内報の発行

・社内報や教育資料を活用し、全国のビル管理現場や指定管理者として管理運営する施設の省エネを推進している。

電解水生成装置の設置

・アルカリイオン電解水生成装置を社内に設置し、化学物質を含まない環境にやさしい洗剤の使用を推進している。また、現場・施設にもアルカリイオン電解水を提供している。

エコキャップ活動への参加

・ペットボトルキャップを全国の現場・施設から回収して、エコキャップ推進協会に提供している。

地域貢献

清掃活動

・毎月、社内から選出したISO活動メンバー15人を中心に、周辺の清掃活動を実施している。



ゴミの分別

事業所コメント

弊社は、今年創立60周年を向かえる施設総合管理企業です。長年培ってきた建物管理のノウハウに加えて、環境への取り組みとしてISO14001、ISO50001の認証取得により、お客様に最適な環境に配慮したサービスを提案・提供しております。社内における環境活動の一例としては、弊社独自に開発した『三幸スマートBEMS』を使用して従業員への「見える化」により社内意識を高め電力使用量削減などを実施しております。今後も環境にやさしい企業活動に取り組んでまいります。

平成26年度提出のあった事業所(公表可能な事業所)

旭化成株式会社	東京センチュリーリース株式会社	丸紅株式会社
旭化成ファーマ株式会社	東京電力株式会社	株式会社みずほ銀行
旭硝子株式会社	東京都国民健康保険団体連合会	三井住友海上あいおい生命保険株式会社
朝日生命保険相互会社	東京ビル整美株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
株式会社アシスト	凸版印刷株式会社	株式会社三井住友銀行
イオンリテール株式会社	株式会社ナカノフドー建設	三井住友信託銀行株式会社
株式会社イトーヨーカ堂	株式会社ニチイ学館	三井住友ファイナンス&リース株式会社
ウシオ電機株式会社	日産化学工業株式会社	三井物産株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	日新火災海上保険株式会社	三菱瓦斯化学株式会社
NECプラットフォームズ株式会社	日新製鋼株式会社	三菱商事株式会社
川崎汽船株式会社	日本紙通商株式会社	三菱地所株式会社
株式会社共立メンテナンス	日本原子力発電株式会社	株式会社三菱地所設計
杏林製薬株式会社	日本興亜損害保険株式会社	三菱地所リアルエステートサービス株式会社
株式会社クラレ	日本工営株式会社	株式会社三菱総合研究所
KDDI株式会社	日本製紙株式会社	三菱電機情報ネットワーク株式会社
株式会社ケントク	日本製薬株式会社	株式会社三菱東京UFJ銀行
三幸株式会社	日本大学歯学部	三菱UFJ信託銀行株式会社
JX日鉱日石エネルギー株式会社	日本大学病院	三菱UFJ投信株式会社
株式会社島津製作所	日本大学理工学部	三菱UFJニコス株式会社
社会福祉法人三井記念病院	日本電信電話株式会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
首都高速道路株式会社	一般財団法人日本品質保証機構	三菱UFJリース株式会社
昭和産業株式会社	日本郵政株式会社 東京通信病院	向井建設株式会社
石油資源開発株式会社	能美防災株式会社	学校法人明治大学
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	株式会社野村総合研究所	山崎製パン株式会社
株式会社そごう・西武	ハウス食品グループ本社株式会社	株式会社ラック
ソニー銀行株式会社	パナソニック株式会社	株式会社リョーサン
第一生命保険株式会社	BNPパリバ証券株式会社	株式会社ルネサスイーストン
ダイダマン株式会社	東日本高速道路株式会社	ルネサスエレクトロニクス株式会社
大鵬薬品工業株式会社	株式会社日立産機システム	(敬称略、50音順)
高砂熱学工業株式会社	株式会社日立製作所	
中央労働金庫	株式会社日立ドキュメントソリューションズ	
株式会社帝国ホテル	日立マクセル株式会社	
東京海上日動火災保険株式会社	株式会社ビックカメラ	
東京商工会議所	前田建設工業株式会社	

省エネルギー部門

<節電に関する取組み>

- ・昼休み・就業時間後の一斉自動消灯、不使用エリア消灯の徹底、蛍光灯の間引き実施
- ・PCの液晶モニタの輝度を下げ、2時間以上離席時のシャットダウンと2時間以内離席時のスタンバイ設定の推奨、帰宅時の電源OFFの徹底(モニタ電源自動オフ設定を推奨)

<ワークスタイルによる取組み>

- ・電力消費量のピークとなる7月から8月の2ヶ月間を夏の「早帰り推進」と「有給休暇取得推進」の強化月間とすることで、消費電力量を抑制
- ・退社時刻を早める目的での早出許容
- ・ノー残業DAYを設定し、対象日には社内放送を実施

<社内外への情報提供>

- ・2、3ヶ月に1回、オフィス内の省エネパトロールを実施

<廃棄物・燃料等の削減>

- ・リユース商品購入の実施
物品購入前に余剰品からのリユースを推奨
- ・両面印刷(全社員のプリンターのデフォルト設定を両面印刷に設定)、N-up印刷、割付け印刷等の出力方法の工夫、印刷前の印刷プレビュー確認励行

<イベントによる取組み>

- ・千代田区自動販売機消灯キャンペーンに参加
屋内の自動販売機の照明(蛍光灯)を24時間消灯・カフェテリアの自動販売機を消灯

<その他の取組み>

- ・緑のカーテンとしてビル壁面でゴーヤ・きゅうり・メロン等を栽培
- ・屋上でハーブを栽培

環境教育部門

<研修会等での学習>

- ・新任部店長・管理職研修、新入社員入社時研修、中途入社研修等においてCSRに関する研修を行い、その中で環境についての内容を講義
- ・外部講師による地球環境問題に関する講演会を開催

<学習・活動支援>

- ・グループ会社の省エネアクションプランの実績優秀者を表彰
- ・エコ検定合格者に受講料の補助を実施

<社内への情報提供>

- ・全店舗で週1回環境デーを設定、毎月配信される環境テーマに沿った環境教育を実施
各店舗での好事例を毎月環境ニュースとして配信し、情報を共有

<その他の学習システム>

- ・社員の環境保全意識の向上を目標に、様々な活動を実施
例として、環境川柳コンテスト(国内)、環境スローガンコンテスト(国外)、環境・燃節フォトコンテスト、昼休みオフィス消灯推進企画などを実施

地域貢献部門

<清掃活動を通じた貢献>

- ・生活環境条例に基づき「千代田区一斉清掃の日」に参加

<教育・学習による貢献>

- ・区立児童館で小学生を対象に「ゴミを少なくする買物」、「牛乳パックで鉛筆立てづくり」などの環境教育を実施

<その他イベントへの参加>

- ・社内の環境推進活動の1つとして、部の目標を「地域貢献活動」に定め「区内一斉打ち水」に参加
- ・森林保全、サンゴ礁保全プロジェクト等の生物多様性の保全を実施

区的主要施策

コミュニティサイクル事業



コミュニティサイクル事業は、CO₂排出量の削減や環境意識の向上とともに、回遊性の向上によるまちの魅力向上や観光・地域の活性化、自転車の共有による放置自転車の削減、健康増進など幅広い効果が期待されます。

平成26年10月から本格実施に向けたコミュニティサイクルの実証実験(愛称:ちよくる)を開始しています。

平成27年度は、実証実験の検証とともに、サイクルポート(自転車を貸出・返却する場所)の拡大や配置の適切化を図るための調査等を実施します。

また、より利用しやすい交通手段を目指し、さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、広域展開に向けた周辺区との連携も検討します。

生物多様性の推進



自然との共生による地域社会の持続的な発展を目指し、生物多様性の保全と千代田区に住み・働き・学ぶだれもが生物多様性を意識して行動していくために、平成25年3月に「ちよだ生物多様性推進プラン」を作成しました。

このプランでは、長期目標として定めた「皇居を中心とする豊かな生きもののネットワークが周辺地域に広がるとともに、だれもが生物多様性の重要性を理解し、行動している社会」を目指し、推進プランに定めた取組みを着実に実行していきます。

平成26年度から、千代田区内の緑や水辺の環境を指標とする生きものを調査対象とした「千代田区生きものさがし」を開始しました。

平成27年度は、様々な団体と連携した観察会や、在来種の植栽を進めていくための検討などを実施していきます。

ヒートアイランド対策

「千代田区ヒートアイランド対策計画」に基づき、積極的な展開を図るとともに、国、都、企業等と連携して、ヒートアイランド対策を推進します。

具体的には、緑化計画書による緑化の推進、建築物環境計画書制度による建築物のヒートアイランド対策の推進、緑化や高反射率塗装・日射調整フィルム等の対策を行う区民や区内事業者への助成を行います。

助成対象	助成内容
敷地内・屋上緑化	助成対象経費の50% 又は 緑化面積 ×3 万円/㎡ のいずれか低い額 (上限 200 万円)
プランター (屋上・容量 100ℓ以上)	助成対象経費の50% 又は 設置基数 ×1.5 万円/㎡ のいずれか低い額 (上限 50 万円)
壁面緑化	助成対象経費の50% 又は 緑化面積 ×5 千円/㎡ のいずれか低い額 (上限 50 万円)
高反射率塗装等※1	助成対象経費の50% 又は 塗布面積 ×4.5 千円/㎡ のいずれか低い額 (上限 30 万円)

※1 高反射率塗装等とは、屋上面に蓄熱を抑制する塗料を塗布することや保水性パネルを敷設すること、窓ガラスに日射調整フィルムやコーティング材による対策を行うことです。

中小テナントビル省エネ改修工事助成事業

千代田区のCO₂排出量の約75%が業務部門であり、特に業務部門の既存建物に対する対策が急務です。

そのため、東京都で平成26年、27年度に行う中小テナントビルを所有する中小企業者等を対象とした建物の低炭素化推進事業である「中小テナントビル省エネ改修効果見える化プロジェクト」※2と連携をとり、千代田区独自の上乗せ助成を実施することで、区内の既存中小テナントビルの低炭素化の促進を図ります。

《対象となる主な要件》

- ・区内に中小テナントビルを所有し、そのビルに省エネ設備導入を行うこと
- ・東京都の助成制度の交付決定を受けること

《助成額》

- ・助成率：助成対象経費の1/2
- ・対象経費：工事費、撤去費、移設費、処分費
(設備費及び都助成制度で対象となった工事費は除く)
- ・上限額：300万円又は東京都助成制度における助成額のうち小さい額

※2 東京都中小テナントビル省エネ改修効果見える化プロジェクトとは、中小テナントビルへの省エネルギー設備導入費用の一部を助成することで、設備導入によるCO₂削減効果を分析し、低炭素ビルが市場から評価される仕組み作りに繋げる事業です。設備導入後のテナントビルのベンチマーク※3評価が「A2」以上となるのが条件となります。

- ・助成率：助成対象経費の1/2
(設備費と工事費が対象経費、工事費は設備費の20%以内)
- ・上限額：2,000万円

※3 ベンチマークとは、東京都が設定するCO₂排出量を床面積で割って原単位化した数値基準で、事業所の規模にとらわれず評価できる省エネ性能指標です。

区的主要施策

環境・リサイクル祭り

毎年6月の環境月間に「環境・リサイクル祭り」を実施しています。温暖化対策やごみ減量、リサイクルに関する活動を実施されている事業者・団体に出展をお願いします。

また、夏の節電やヒートアイランド対策の一環である緑化推進のため、区内の事業所や区民の方にゴーヤとハーブの苗木を配付します。

※ゴーヤとハーブは区内の事業所、家庭で育てていただきます。



区内一斉打ち水

千代田区では、8月1日を「区内一斉打ち水」の日と定め、区民や事業者の皆さんの協力を得て、区内各所で一斉に打ち水を実施しています。

都心におけるヒートアイランド対策として、また、江戸しぐさの「来客への心遣い」の一つとして身近な取組みで涼しさが体感できる打ち水に、事業者・団体の方は是非ご参加ください。





C E S 推進協議会

CESとは、**Chiyoda Eco System** (千代田エコシステム) の略称で、千代田区に関わるすべての人々が取り組みやすい環境マネジメントシステムです。

CES推進協議会は、**CES**を通じて、地球温暖化対策や地域の環境改善を推進することを目的に、千代田区に関わる人びとや組織が集まり、知恵を出し合い、協力する協働の場として、平成20年4月に設立された組織です。

平成26年度の主な事業

エコレシピコンテスト

ごみを減らし、電気やガスの使用量を減らすなどの環境に配慮した「エコ」なレシピを募集する「エコレシピコンテスト」を実施しています。

このコンテストは、調理に使用するエネルギーの削減や、ムダのない食材の活用など、美味しくエコな工夫を取り入れたレシピを審査し、優秀なレシピを表彰します。



ウォーキング・プラス

千代田区内を歩きながら、環境問題を考えるイベント「ウォーキング・プラス」を実施しています。

季節ごとに「野鳥」「東京・千代田の夜」「ごみ」をテーマに、自然環境・エネルギー・廃棄物問題と、それぞれの角度から千代田区の身近な環境問題を考えます。



CES推進協議会 会員募集中

CES推進協議会は、会員のみなさまの会費によって運営されています。個人でも、企業や学校などの団体でも入会できます。

個人会員や団体会員の方々は、千代田区が実施する環境イベントに主体的に参加するなど、地球温暖化対策や地域の環境改善のために活躍されています。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



問合せ先

CES推進協議会事務局

〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1 (千代田区役所 5 階) TEL&FAX : **03-5211-5085** (直通)

E-mail : info@chiyoda-ces.jp

URL : <http://chiyoda-ces.jp>

発行 千代田区 環境・温暖化対策課

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 TEL 03-5211-4253(直通)

